

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価				
1	消防・救急体制の充実 60101010	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	<b>11,969,013</b>	事務事業評価		・施設の経年劣化が進んでいるため点検・清掃等を行い、維持管理に努めている。 ・適切な庁舎の維持管理を行い、消防活動への影響を最小限に抑える必要がある。	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	本署管理事務		7,994,480	消防本部 消防署	高い			
			3,974,533	鈴木 常雄				
			<b>9,485,819</b>	高い				
			6,756,122	高い				
	2,729,697	高い			改善の効果	高い		
2	消防・救急体制の充実 60101020	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	<b>4,732,063</b>	事務事業評価		施設設備の老朽化、また塩害によって不具合箇所が発生している。このことから点検を随時行い、不良箇所の修繕等を早期に行う必要がある。	点検業務を行った結果、不良箇所を発見し、仮眠室エアコン1台、北棟研修室エアコン1台及び車庫オーバースライダーの修繕を行った。	施設設備等の点検を行い、不良箇所等を早期に発見し、修理等を実施して維持管理を図る。
	赤羽根分署管理事務		3,634,596	消防本部 赤羽根分署	高い			
			1,097,467	河合 哲郎				
			<b>8,531,574</b>	高い				
			3,494,674	高い				
	5,036,900	高い			改善の効果	高い		
3	消防・救急体制の充実 60101030	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	<b>12,789,446</b>	事務事業評価		・施設設備等の点検及び整備を行い維持管理に努めている。 ・建物自体が築45年経過し老朽化が進んでいるため、不良箇所については迅速に対処する必要がある。	施設設備等の定期点検を実施し不良箇所や不具合を早期に発見し、維持管理を適正に行った。	施設設備等の点検を行い、不良箇所等を早期に発見し、修理等を実施して維持管理を図る。
	渥美分署管理事務		4,188,116	消防本部 渥美分署	高い			
			8,601,330	片山 三喜男				
			<b>11,762,940</b>	高い				
			4,282,162	高い				
	7,480,778	高い			改善の効果	高い		
4	消防・救急体制の充実 60101060	・消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 ・火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全的な活動を実施する。	<b>383,692,728</b>	事務事業評価		・ベテラン職員の退職に伴う消防力の低下を抑えるため、職員の育成に努める。 ・訓練計画を綿密に立て、より実践的な訓練に取り組んでいく。 ・消防活動用資器材の老朽化に伴う更新や適正な維持管理を行う必要がある。	・各種訓練を実施し、消防活動技術の向上を図った。 ・老朽化した熱画像直視装置や潜水資器材などを新たに購入し、安全・確実な活動が出来るよう努めた。 ・資器材の整備や修繕を行い、維持管理に努めた。	・様々な事故や災害に対応するため、各種訓練を実施(継続)し、更なる消防活動技術の習得に努める。 ・消防活動用資器材の老朽化に伴う機能低下や事故防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。
	消防活動事業		5,514,841	消防本部 消防署	極めて高い			
			378,177,887	鈴木 常雄				
			<b>383,067,866</b>	極めて高い				
			9,292,271	極めて高い				
	373,775,595	高い			改善の効果	極めて高い		
5	消防・救急体制の充実 60101070	東三河共同受信において迅速かつ確かな出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	<b>109,678,838</b>	事務事業評価		・東三河消防指令センターにおいて、緊急消防通信指令システムを東三河5市で共同運用している。 ・緊急消防通信指令システムの老朽化に伴い、更新が必要のため、平成29年度に部分更新、平成35年度に全更新を予定している。	・緊急通報システムが、直接東三河消防指令センターで受信できるようになり、より迅速な出動が可能となった。 ・気象観測装置をオーバーホールしたことで、より正確な観測ができるようになった。	緊急消防通信指令システムの更新計画に基づき、東三河消防指令センター及び各消防本部と緊密な連絡体制を構築する。
	通信指令事務		29,389,863	消防本部 消防署	極めて高い			
			80,288,975	鈴木 常雄				
			<b>117,378,553</b>	極めて高い				
			31,799,449	高い				
	85,579,104	高い			改善の効果	極めて高い		
6	消防・救急体制の充実 60101080	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を行うため、装備・資器材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施し、地域防災力の充実強化に努める。	<b>141,717,077</b>	事務事業評価		消防団が、各種災害において、その機能を十分に発揮できるように消防団活動の円滑な推進を図っている。課題として消防団員の確保が厳しい現状であるが、市民の安心・安全を確保するには、地域に密着した消防団員の確保は必要不可欠である。	消防団員の活動環境改善のため、消防団協力事業所表示制度及び消防団応援の店事業を実施した。また、安全確保対策のため、消防団の装備の基準に基づき被服、資器材を貸与した。	消防団の装備の基準を踏まえて、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の装備を更に充実強化し、安全な活動環境づくりを目指す。
	消防団活動事業		122,716,016	消防本部 消防課	高い			
			19,001,061	岡本 長佳				
			<b>130,756,103</b>	極めて高い				
			111,539,186	高い				
	19,216,917	高い			改善の効果	高い		
7	消防・救急体制の充実 60101090	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所・車庫の維持管理を実施する。	<b>5,090,574</b>	事務事業評価		市内22か所の詰所・車庫を各分団からの修繕依頼に基づき、施設を調査し修繕を実施している。また、経費削減に努めながら消防団施設の維持管理を図る必要がある。	神戸分団2・3号車、南部分団2号車、野田分団1号車、重浦分団、福江分団2号車の詰所・車庫等の修繕を実施した。	必要により消防団施設の修繕を行い、地域の活動拠点としての機能を維持していく。
	消防団施設管理事業		3,091,173	消防本部 消防課	高い			
			1,999,401	岡本 長佳				
			<b>5,040,261</b>	高い				
			3,074,525	高い				
	1,965,736	普通			改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	妥当性評価	有効性評価			
				効率性評価				
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	<b>25,070,385</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存住宅への住宅用火災警報器の普及啓発及び適正な維持管理が望まれる。</li> <li>防火対象物に定期的な立入検査を行い、早期に違反是正ができる体制を整える。</li> <li>防火管理者による消火訓練、避難訓練等の積極的な実施を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火対象物への定期的な立入検査の実現に向け、警防職員との協力体制の構築を図った。</li> <li>住宅用火災警報器設置率向上を推進するため広報活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火対象物への計画的な立入検査を行い、平成32年4月からの公表制度に向けて指導を徹底する。</li> <li>安全で住みやすい環境づくりのため、住宅用火災警報器の普及と適正維持管理の推進を行う。</li> <li>立入検査や災害発生時に活用するため、特定防火対象物の紙図面をデータ化する。</li> </ul>
	60101100		796,113	消防本部 消防課				
			24,274,272	岡本 長佳	極めて高い			
			<b>26,445,126</b>		極めて高い			
			739,178	極めて高い				
			25,705,948	高い			改善の効果	高い
9	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に基づき危険物製造所等の許可、認可及び立入検査等を行い、危険物が適正な施設や手続きに沿って取り扱われるよう指導し、危険物に関連する事故等の発生を防ぐことにより市民の安全を確保する。</li> <li>煙火消費許可及び立入検査等を行い、煙火消費が適正に行われるよう指導する。</li> </ul>	<b>26,229,044</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>危険物製造所等の許可、認可及び施設への立入検査を行うことで安全操業の推進を行う。</li> <li>煙火消費許可及び立入検査等の実施により安全な消費を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全危険物施設に立入検査を行い、安全操業のため適宜指導を行った。</li> <li>石油コンビナート等災害防止法に基づき、災害予防対策及び災害応急対策を円滑に行えるように特定事業所と会議等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険物施設自体は、全国的に減る傾向にあるが、既存の施設は老朽化が進んでいる現状から、事故防止のため適正な維持管理の指導を行う。</li> </ul>
	60101110		4,335,681	消防本部 消防課				
			21,893,363	岡本 長佳	高い			
			<b>19,011,363</b>		極めて高い			
			2,620,848	極めて高い				
			16,390,515	高い			改善の効果	高い
10	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。</li> <li>緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。</li> </ul>	<b>17,192,044</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急車両として、安全に使用できるように万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し徹底した維持管理を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定点検や自主点検を徹底するとともに、交換が必要な部品を適切に交換し、緊急車両としての維持管理を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両及び装備機材等の法定点検及び自主点検を徹底し、故障箇所が発見された場合は修繕を行い緊急車両としての維持管理を行う。</li> </ul>
	60101120		8,608,975	消防本部 渥美分署				
			8,583,069	片山 三喜男	極めて高い			
			<b>18,268,724</b>		高い			
			8,449,436	高い				
			9,819,288	高い			改善の効果	高い
11	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火水槽を改修し、有蓋化を図る。</li> <li>火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。</li> </ul>	<b>120,081,736</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防力のひとつである防火水槽の整備は、消防の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽を取壊すとともに市有地への設置を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化し漏水等が認められた防火水槽を取壊し、耐震性防火水槽(有蓋40㎡ 3基)を設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震災害等による火災に対応するため、耐震性防火水槽を整備し耐震化率の向上を図り、市民生活の安心・安全を確保するとともに、老朽化した防火水槽を順次更新及び耐震補強工事を実施していく。また、消火栓に備えることがないよう継続して消防水利の充実を図っていく。</li> </ul>
	60102010		105,678,193	消防本部 消防課				
			14,403,543	岡本 長佳	極めて高い			
			<b>48,330,340</b>		極めて高い			
			35,494,200	極めて高い				
			12,836,140	高い			改善の効果	普通
12	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修を行い有効水利を確保する。</li> <li>無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。</li> </ul>	<b>14,583,240</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、標識等の管理の徹底を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水利標識、安全対策用フェンス等を設置するとともに、老朽化した防火水槽取壊し7基、防火水槽改修3基を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行い、市民の日常生活の安心に寄与するため、老朽化した消防水利の取壊しや修繕に取り組む。</li> </ul>
	60102020		7,500,098	消防本部 消防課				
			7,083,142	岡本 長佳	極めて高い			
			<b>15,948,639</b>		極めて高い			
			6,846,917	極めて高い				
			9,101,722	普通			改善の効果	高い
13	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。</li> <li>無蓋防火水槽が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。</li> </ul>	<b>32,397,568</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、新設・改良を行っている。また、未充足地域への消防水利の整備を効率良く実施することが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業と協議し、消火栓配水管改良1基、設置6基、既設改良10基を整備し、消防水利の基準に基づいた適正配置となるよう事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防水利の整備拡充が今後も課題となるため、効果的に消防水利を配置するとともに、新たな開発行為等における設置や、耐震性を有する配管への設置要望を行い、消防水利の充実を図っていく。</li> </ul>
	60102030		28,339,092	消防本部 消防課				
			4,058,476	岡本 長佳	極めて高い			
			<b>26,274,799</b>		極めて高い			
			21,935,988	極めて高い				
			4,338,811	高い			改善の効果	普通
14	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の安全・安心を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。</li> </ul>	<b>9,361,165</b>	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽程度等を考慮し計画的に更新を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新年数を経過し老朽化した消防ポンプ自動車1台(神戸分団1号車)を更新した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団車両の更新整備に際しては、地域の特性に合わせた車両機材を考慮するとともに、車両積載器材についても震災時に活用できる資器材の導入に配慮する必要がある。また、消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新していく。</li> </ul>
	60102050		7,759,061	消防本部 消防課				
			1,602,104	岡本 長佳	極めて高い			
			<b>20,027,745</b>		高い			
			17,482,174	高い				
			2,545,571	高い			改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名					
事務事業名		H28決算額(円)		事務事業評価					
		内 直接事業費 内 人件費		妥当性評価 有効性評価 効率性評価					
15	消防・救急体制の充実 60102060	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の整備を行う。	26,377,179	事務事業評価		・経年劣化による施設設備等の不具合が生じてきているため、適宜対応している。 ・拠点施設としての機能を更に向上させる必要がある。	・浴室改修工事により、老朽化した配水管及びボイラー設備の更新を行い、活動拠点の機能向上を図られた。また、ボイラー設備の位置を変更したことにより、コストの削減ができた。 ・受電設備改修工事により、電気設備の安定が図られた。	消防庁舎の外壁補修工事の施工及び空調機器等を計画的に整備するとともに、拠点施設としての機能性向上を図る。	
	20,370,936		消防本部 消防署						
	6,006,243		鈴木 常雄						
	14,379,272		高い						
	12,427,560		高い						
		1,951,712		高い		改善の効果		高い	
16	消防・救急体制の充実 60102090	地域における消防防災活動の中心的な役割を担う消防団員の活動拠点として、詰所・車庫を整備し、活動体制や機能の充実を図る。	95,137,521	事務事業評価		津波浸水想定区域内の詰所・車庫を早急に移転することが喫緊の課題となっている。また、詰所・車庫の調査を継続して行い、老朽化した施設を対象に計画的に建替えを行っている。	津波浸水想定区域内の福江分団3号車の詰所・車庫を津波浸水想定区域外へ建設し、大規模災害発生時においても最大限に機能する拠点施設とした。	津波浸水想定区域内の詰所・車庫を早急に移転するとともに、災害発生時に最大限に機能する事ができるよう、現地確認、調査を十分に実施し、常に実態を把握しながら計画的な建替えを図っていく。	
	87,594,160		消防本部 消防課						
	7,543,361		岡本 長佳						
	70,517,362		極めて高い						
	62,740,015		高い						
		7,777,347		高い		改善の効果		極めて高い	
17	消防・救急体制の充実 60103010	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士も順次養成する。また、心肺停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖症例へのブドウ糖溶液の投与ができる救命士も養成する。	30,203,555	事務事業評価		救急救命士の高齢化、管理職への登用等により現任救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1名以上の養成が必要である。また、救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救命士、気管挿管認定救命士の養成も急務となっている。	・救急救命東京研修所の救急救命士養成研修課程に1人派遣し、国家試験に合格した。 ・薬剤投与救命士2人、処置範囲拡大救命士1人及び指導救命士1人の養成を行った。	救命士業務高度化に対応するため、継続して気管挿管、薬剤投与認定救命士及び処置範囲拡大救命士の養成をするとともに職員の救急隊員資格の取得に努める。また、救急救命士の高齢化、管理職への登用等により現任救急救命士の確保が困難になってくるため、新規職員採用時の救急救命士枠の継続を要望する。	
	4,555,114		消防本部 消防課						
	25,648,441		岡本 長佳						
	25,384,912		極めて高い						
	4,382,194		極めて高い						
		21,002,718		高い		改善の効果		高い	
18	消防・救急体制の充実 60103020	・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	290,227,523	事務事業評価		救命率の向上、病態の悪化を防ぐため、チームトレーニングを十分に行い、現場活動時間の短縮、質の高い活動を行う訓練を実施している。	・出勤した事案に対する検証及び様々な現場を想定したチームトレーニングを行うことにより、現場活動時間の短縮、質の高い活動が行えるようになった。 ・高度な訓練人形の配備により、質の高い訓練を実施することができるようになった。	・高度化する救急業務に対応するため、隊員の育成及び資器材の充実を図る。 ・救命率の向上を図るため、AEDのコンビニエンスストアへの設置を継続する。 ・救急車の適正利用について広報を行う。	
	10,548,403		消防本部 渥美分署						
	279,679,120		片山 三喜男						
	305,409,874		極めて高い						
	13,106,620		極めて高い						
		292,303,254		高い		改善の効果		高い	
19	消防・救急体制の充実 60103030	・各種災害事案に対応するため、機能低下した高規格救急自動車の更新整備を図る。 ・救命率向上に向けた高度救命資器材の整備を図る。	0	事務事業評価		救急車両の安全な運行を確保し、災害時に円滑な救急活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽程度を考慮し、更新計画に基づき更新が必要である。	更新したことにより安全性及び操作性が向上し、災害時において円滑な救急活動を行えるようになった。	更新計画に基づき実施していくが、車両の使用状況、状態等も考慮した上で実施する。	
	0		消防本部 消防署						
	0		鈴木 常雄						
	34,479,098		極めて高い						
	32,717,594		極めて高い						
		1,761,504		高い		改善の効果		高い	
20	消防・救急体制の充実 60103040	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	23,609,522	事務事業評価		救命にはバイスタンダーによる救命手当が重要であるため、地域・企業等へAED設置整備の普及啓発、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	普通救命講習などの救命講習を4,863人に実施した。	・救命講習受講者数の増加に向け、受講しやすい環境及び講習体制を構築する。 ・他の部署が開催するイベント等を利用し、講習会を開催するなど、市民の受講機会を増加する。	
	845,877		消防本部 渥美分署						
	22,763,645		片山 三喜男						
	19,678,135		極めて高い						
	768,877		極めて高い						
		18,909,258		高い		改善の効果		普通	
21	消防・救急体制の充実 60103050	・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	7,497,060	事務事業評価		緊急車両として、安全に使用できるように万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し徹底した維持管理を行う必要がある。	車両及び装備器材等の法定点検及び自主点検を徹底し、故障箇所が発見されたため、修繕を行い、緊急車両としての維持管理を行った。	車両及び装備機器等の法定点検及び自主点検を徹底し、故障箇所が発見された場合は修繕を行い緊急車両としての維持管理を行う。	
	2,725,530		消防本部 渥美分署						
	4,771,530		片山 三喜男						
	9,184,726		極めて高い						
	2,653,376		高い						
		6,531,350		高い		改善の効果		高い	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名					
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価					
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価					
22	防災・減災体制の充実 60201010	地震・津波、風水害等の自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動の支援及び防災資機材等の整備に対して支援を行う。	21,228,258	事務事業評価		奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 推進地区活動支援は、24年度で校区としては一通り終了したが、更なる地域防災力向上に向け、継続して実施する必要がある。	童浦、衣笠地区で実施。地域防災力の向上と、地域住民の意識高揚を図ることができた。	推進地区活動支援は財政的支援も含め更なる地域防災力の向上に向け事業を継続して実施していく。	
			12,987,446	防災局 防災対策課					
			8,240,812	三竹 雅雄	極めて高い				
			18,268,327	高い					
	自主防災活動推進等支援事業 (60201010,60201020)		11,072,272	高い					
			7,196,055	高い			改善の効果	高い	
23	防災・減災体制の充実 60202010	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	16,383,022	事務事業評価		防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座等の講習会、子ども防災教室の開催等を実施。東日本大震災から月日が経ったこともあり、更なる意識高揚を図る必要がある。	実践的な訓練を取り入れた総合防災訓練や最新情報を取り入れた講習会を実施したことにより、市民の意識啓発につながった。	引き続き、実践的な訓練を取り入れた防災訓練、講習会等の実施による啓発を推進していく。	
			4,374,509	防災局 防災対策課					
			12,008,513	三竹 雅雄	極めて高い				
			15,892,107	高い					
	防災意識啓発事業		4,648,710	高い					
			11,243,397	普通			改善の効果	高い	
24	防災・減災体制の充実 60202020	災害時におけるボランティアの力を有効に活かすため、被災者のニーズとボランティアとの調整の役割を持つ防災ボランティアコーディネーターを養成する。 その業務を災害ボランティアセンター運営協力団体である社会福祉協議会に委託することにより、講座内容の更なる充実及び発災時の連携強化に努める。	2,815,227	事務事業評価		防災ボランティアコーディネーター養成講座、フォローアップ講座を開催。養成講座の受講生の確保と、コーディネーターの更なるレベルアップ、受講生のネットワーク形成のための組織化が課題。	災害ボランティアセンターの運営を主体的に行う社会福祉協議会へ養成事業を委託し、受講生の対象範囲を拡大して周知募集を行い、高校生など若年層の受講生を多く確保することができた。	災害ボランティアセンターの設置を想定した養成講座受講者の活動の支援を行う。市内における本講座の受講者のネットワーク化を図るよう関係機関と協議していく。	
			1,067,000	防災局 防災対策課					
			1,748,227	三竹 雅雄	高い				
			2,639,082	高い					
	ボランティアコーディネーター養成事業		1,470,000	高い					
			1,169,082	普通			改善の効果	普通	
25	防災・減災体制の充実 60202030	市の総合的な防災活動を効果的に推進するため、地域防災計画や国民保護計画等の見直しを図る。 特に津波避難対策については、情報伝達・災害復旧対策について、より効果的な対策が図られるよう総合的な推進を図るとともに、国・県所管施設の整備については積極的な促進を図る。	47,021,594	事務事業評価		南海トラフ地震等の自然災害に対する災害対策の推進が必要であり、特に南海トラフ地震については、「何としても命を守る」ことが最優先課題となっている。	地域防災計画の修正、田原市国土強靱化地域計画、田原市津波防災地域づくり推進計画の策定及び各施策における進捗管理を実施。	地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。 また、業務継続計画等の既存計画の見直しや、受援計画を策定し、それらに基づいた実践的な訓練を通して、非常時優先業務の個別マニュアルの作成・促進を図る。	
			5,710,300	防災局 防災対策課					
			41,311,294	三竹 雅雄	極めて高い				
			25,742,757	極めて高い					
	災害対策事業		3,330,427	極めて高い					
			22,412,330	高い			改善の効果	高い	
26	防災・減災体制の充実 60202050	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資器材を整備し被害の軽減を図る。	2,101,279	事務事業評価		風水害等の災害時に備え、必要とされる資器材の確保を行うほか、移送手段を考慮する必要がある。	老朽化した防災備蓄土のうを更新し、必要数を確保するとともにバレットに効率的に積載し、災害時に迅速に搬送できるようにした。	ゲリラ豪雨や台風等の災害に対応するため、必要とされる資器材の整備や備蓄資器材の確保を行う。	
			1,771,626	消防本部 消防課					
			329,653	岡本 長佳	高い				
			2,208,893	高い					
	災害対策事業(消防)		1,807,752	高い					
			401,141	普通			改善の効果	普通	
27	防災・減災体制の充実 60203020	地震・津波・風水害等の災害情報を迅速・確実に収集するため、防災情報表示システムの整備を図る。	78,979,266	事務事業評価		防災カメラシステムを含めた防災情報表示システムの老朽化対策として、防災センター及び防災サーバ室の設備の更新が必要である。	市内の主要河川を監視するため、防災カメラ2台増設。また、不要となった防災カメラ1台を撤去。	防災情報表示システムの老朽化対策として、計画的に設備の更新を行う。	
			75,117,780	防災局 防災対策課					
			3,861,486	三竹 雅雄	高い				
			15,119,372	高い					
	防災情報通信施設設備等整備事業		13,921,200	高い					
			1,198,172	普通			改善の効果	高い	
28	防災・減災体制の充実 60203030	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生の防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	3,485,418	事務事業評価		災害時の被害軽減及び迅速な対応ができるよう資機材の充実と適正な維持管理が必要である。	浸水等の被害軽減を図るために購入した排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	近年各地で発生しているゲリラ豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実を図ると共に資機材の使用方法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。	
			887,577	建設部 維持管理課					
			2,597,841	大羽 剛志	極めて高い				
			2,796,406	極めて高い					
	水防対策事業		402,439	高い					
			2,393,967	普通			改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H28決算額(円)	妥当性評価				
		内 直接事業費	有効性評価					
		内 人件費	効率性評価					
29	防災・減災体制の充実	災害発生時における災害応急活動・災害復旧活動等を迅速に実施するため、非常用食糧等の備蓄、市防災倉庫等の適切な維持管理を図る。	<b>11,826,847</b>	事務事業評価		避難所を運営する上で必要な簡易トイレや間仕切り等の備蓄数量を増やしていくに当たり、保管場所の確保が課題となっている。	防災倉庫の管理、備蓄品の計画的な更新を実施することができた。自主防災会及び各家庭での備蓄品の備えについて啓発を実施。また、水・食料の備蓄計画について、南海トラフ地震被害想定結果に伴う見直しを実施。	水・食料以外の備蓄計画について、南海トラフ地震被害想定結果に伴う見直しを行うとともに、防災倉庫の増設の検討や自主防災会・企業・家庭内備蓄等の促進を図る。
	60203040		9,946,364	防災局 防災対策課				
	防災倉庫管理事業		1,880,483	三竹 雅雄				
			<b>13,468,711</b>	極めて高い				
			11,770,411	高い				
	1,698,300	高い						
				改善の効果	高い			
30	防災・減災体制の充実	災害発生時に避難所や医療救護所等として活用される公共施設や、市内に整備した近隣防災広場・防災井戸、飲料水兼用耐震性貯水槽等の適切な維持管理を図る。	<b>17,606,041</b>	事務事業評価		8か所の医療救護所の開設を予定しているが、被害想定による開設場所の見直し、発災時の医療救護体制の確保が課題。	現有物品(EM-5)の適切な管理と、災害時の医療救護体制の検討を行った。	引き続き、医療救護所の見直しと医療救護体制の検討を行う。また、耐震性貯水槽の適切な維持管理を行う。
	60203050		16,665,799	防災局 防災対策課				
	防災設備管理事業		940,242	三竹 雅雄				
			<b>15,001,433</b>	高い				
			14,521,315	高い				
	480,118	普通						
				改善の効果	普通			
31	防災・減災体制の充実	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民へ迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	<b>61,917,725</b>	事務事業評価		防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、移動系防災行政無線等の機器の老朽化が激しく、単純な修繕等では機器が修理できなくなっている。また、市民に販売した防災ラジオの故障が多くなっているため、市民からの再販依頼が多い。	機器の保守点検の実施及び修繕を実施し、可能な限り性能を保つようしている。	平成34年11月末から施行されるスプリアス規制により使用が出来なくなるデジタル・アナログ移動系無線機の整備・更新計画を策定し、確実な情報収集・発信体制を構築する。
	60203060		57,149,655	防災局 防災対策課				
	防災情報通信施設設備等管理事業		4,768,070	三竹 雅雄				
			<b>39,011,794</b>	極めて高い				
			35,485,300	極めて高い				
	3,526,494	普通						
				改善の効果	高い			
32	防災・減災体制の充実	南海トラフ地震に係る緊急の津波避難対策として、付近に高台等がない避難困難地域の避難場所として、人工高台(津波避難マウンド)を整備する。	<b>29,906,304</b>	事務事業評価		地震・津波からの避難を迅速・確実・安全に行うため、津波避難マウンドや津波避難看板、津波避難標示、避難路・避難誘導灯等を整備。	社会資本整備総合交付金を活用し、津波避難マウンドの下部造成工事を実施(堀切地区)。また、道標プロジェクトとして、津波セーフティライン6か所及び津波避難看板2か所の整備を実施。	津波避難マウンドは、堀切地区は平成30年度、小中山地区は平成32年度の完了予定で整備を推進する。道標プロジェクトは、平成28年度で終了したが、津波避難マウンドの整備が完了した際には、そこまでの案内看板等の整備を行う。
	60203070		25,053,840	防災局 防災対策課				
	防災施設整備事業(60203070,60203074,60203075)		4,852,464	三竹 雅雄				
			<b>223,357,218</b>	極めて高い				
			203,106,960	極めて高い				
	20,250,258	普通						
				改善の効果	高い			
33	防災・減災体制の充実	自主防災活動や地域コミュニティ活動等が、活発かつ安全・安心に実施できるよう、その活動拠点である地区集会所等の耐震改修に対し支援を行う。	<b>13,353,903</b>	事務事業評価		旧耐震診断済みの木造施設のうち、診断結果が0.7以上1.0未満の施設で、耐震改修の実施が見込まれる施設については、再診断を実施した結果、耐震改修が必要な施設の対策が必要である。	耐震改修補助4件	平成29年度末以降に耐震改修が必要な施設が5施設残っているため、今後も継続して、施設の改修を促進する。
	60204010		13,054,800	防災局 防災対策課				
	地区集会所耐震化推進支援事業		299,103	三竹 雅雄				
			<b>15,516,263</b>	極めて高い				
			15,345,000	極めて高い				
	171,263	高い						
				改善の効果	高い			
34	防災・減災体制の充実	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	<b>40,473,077</b>	事務事業評価		耐震改修は当初予定した件数に対して近づいてはいるが、まだ到達していない。簡易耐震対策など特に高齢者の申請件数が向上しておらず、高齢者の安全対策意識及び対策補助の件数が低い	耐震診断ローラー作戦、耐震無料相談会、耐震出前講座 診断158件、改修工事12件 簡易耐震2件	前年に引き続き診断ローラー作戦、無料相談会、出前講座を行なう。耐震化率向上のため平成29年度より解体工事費補助を実施。耐震改修工事等の促進のためダイレクトメールでの啓発活動を行なう。
	60204020		33,506,974	都市整備部 建築課				
	建築物耐震化推進支援事業		6,966,103	稲垣 守泰				
			<b>32,548,515</b>	極めて高い				
			24,682,424	高い				
	7,866,091	普通						
				改善の効果	普通			